

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ



2017 年 4 月 28 日 発行

第 1 号

広島女学院中学高等学校

新学期が始まって一か月足らずが過ぎました。昨年度末から今までの校庭の植物の変化の様子は目覚ましいものがあります。卒業時期の 3 月、まだ冬枯れた雰囲気の中で、校庭北の 2 本の彼岸桜とモクレンの花が咲いて、卒業生達を見送ってくれました。4 月に入ると、校庭周囲のソメイヨシノの桜がどんどん色付いて、待ちかねた様に花を開き、一気に到来した春の彩りの中で新入生が入学しました。また、中学校舎のグラウンド沿いには桜草が地面を彩り、ハナミズキが白い花を咲かせています。樹樹が秘めていたエネルギーが、次々と一気に目覚めるこの時期、新しい生活を始めた生徒達のエネルギーも元気に開花してほしいと願っています。

さて現在、広島女学院中学高等学校には女学院生活一か月の中学 1 年生から 5 年余りの高校 3 年生まで 1,300 名足らずの生徒達が学校生活を送っています。入学に向けて必要な準備と手続きを経て入って来た生徒達ですから、どの生徒も、どれだけの長さを学したかに係わりなく、「女学院生である」ことには違いはありません。しかし、「女学院生になる」のには時間が必要です。毎日 7～8 時間、あるいはそれ以上の長い時間を、ホームルーム・クラブ・委員会など様々な仲間や先生方と共に過ごし、それを何年間も積み上げていく訳ですから、そこに何らかの学校らしさと言うものが醸し出されるのは当然のことでしょう。しかし、女学院らしさと言うものがあるとすれば、それは何か定まった模範の様な型が最初からあって、それに皆が合わせていくことで出来てくると言うようなものでは無いように思います。いや、むしろ、大人への成長の中で一人一人が自立した人間となっていくために、自分が本当は何をしたいのか、どんな生き方を目指し、どんな自分になりたいのか、そのことを各自の個性に従って求めていくこと。また、それぞれの個性の違いをお互いが尊重し認めあうことで醸し出す、自由な雰囲気ではないかと思います。これからの 1 年間、勉強や活動、そして行事を通して生徒一人一人が、生き生きとした自立への一歩を歩み、素敵な「女学院生になる」ことを願っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

### 聖書の言葉

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。

しかし、成長させてくださったのは神です。

ですから、大切なのは、

植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。」



コリントの信徒への手紙一 3 章 6 節

(校長)

## イースター特別礼拝

「イースター（復活祭）」は、クリスマスと  
ならぶキリスト教の大切な記念日です。私た  
ちの救いのために、自分を犠牲にして十字架  
で死なれたイエス・キリストが “復活” し  
たことをお祝いします。太陰暦で定められて  
おり、毎年日程が動きますが、今年のイース  
ターは、4月16日（日）でした。女学院で  
は4月15日（土）にイースター特別礼拝を  
行い、三滝グリーンチャペルの堀川寛牧師を  
講師にお迎えしました。

中学では、「隣人愛とは、自分にしてほしい  
ことを相手にすること。相手が自分の苦手  
な相手であるほど、自分の払う犠牲が大きい  
ほど、だれにも知られず報いが少ないほど、  
その隣人愛は大きい。イエス様は十字架で隣  
人愛のMAXを示された。皆さんも女学院で、  
成績だけでなく、隣人愛のレベルも上げてく  
ださい」というお話をしてくださいました。

高校は、「私たちの世界を動かしてきた男  
性の作ったシステムはすでに破綻している。  
イエス様は女性が低く見られていた時代に  
女性を大切にし、キリスト教の出発点である  
“復活”を担ったのは女性たちだった。優劣  
や競争にこだわる男性ではなく、共感力や信  
じる力の勝っているあなたたち女性が、この  
世界を作り直して欲しい」というお話  
でした。

（宗教教育委員会）

## 避難訓練

4月20日（木）4時間目の終わってから昼  
休憩にかけて、避難訓練を行いました。昨年  
度の反省を踏まえて、年度の早い段階で実施  
できたことはよかったと思います。今回は火  
災を想定し、火災報知器を使ってサイレンを  
鳴らし防火シャッターを閉めてもらいまし  
た。消防機関への通報訓練も行いました。前  
回の地震の訓練のときは急ぐ必要はない、と  
指導しましたが、火災の避難は急がなくては  
なりません。階段を降りる優先順位を全教員  
がしっかり認識する必要があると思いまし  
た。生徒もですが、教職員、学校施設の訓練  
でもあるため、日時を細かく予告せずに行う  
ようにしています。だんだんとスムーズに行

われるようになっていくのを感じますが、高  
校はグラウンドでの並び方に課題が残りに  
ました。

（生徒支援部）

## 生徒支援部より

本年度より、生徒支援部となりました。生  
活指導も生徒支援の一環ととらえ、思春期  
のさまざまな課題を抱えている生徒への助言  
や支援を行います。保護者の皆様のご理解と  
ご協力をお願いいたします。

### 1.身だしなみを整えましょう。

スカート丈、上着やブラウスのボタン、靴  
下、校内靴など、「きちんと」感のある着こ  
なしをしましょう。小さいトートバッグを  
持ってくる人がいますが、規定のカバンに  
しっかり収めて通学姿もすっきりしてほし  
いものです。

### 2.遅刻をしないで、リズムある生活をしま しょう。

遅刻しないためには、どのように生活し、  
時間管理すべきかを考えて下さい。遅刻3  
回で保護者に警告通知を郵送、5回で生徒  
支援部による本人面接、8回で教頭・生徒支  
援部による、本人・保護者面接となります。  
校内でも時間を守り授業に遅れないように  
しましょう。

### 3.廊下を走らないようにしましょう。

校舎内を走る中学生が増えています。ぶつ  
かると大変危ないです。授業開始や最終下  
校時刻に余裕を持って間に合うよう、時計  
を身につけて時間意識を持ちましょう。

### 4.校内外でのマナーを守りましょう。

登下校の道、公共交通機関の中で、他者意  
識をもった思いやりのある態度を身につけ  
ましょう。自転車に乗るときは歩行者優先  
を忘れないでください。

### 5.気持ちの良い挨拶をしましょう。

いろいろな場面で自然な挨拶が聞こえる  
学校にしましょう。来校されたお客様にも  
気持ちの良い挨拶をしましょう。

### 6.SNSについて

自分を危険にさらさないよう情報モラルを  
身につけましょう。

なお、年度始めに『学校生活の手引』について確認のプリントを配布しました。学校生活のきまり・緊急時の登校について等ご確認下さい。

なにより安全な登下校、学校生活を送れるよう願っております。

(生徒支援部)



## 春休み GEC 活動報告

詳しくは、広島女学院中高HPの  
‘SGHブログ’をご覧ください。

### I. 海外研修 (SGH 事業)

#### ① カンボジア研修

私たち高校2年生12名は3月25日から6日間、カンボジア研修に参加しました。今回の研修目的は、広島とカンボジアという、過去に負の歴史を持つもの同士として平和のあり方を考えることです。

まず始めにアンコール遺跡群を観光し、その後ゴミ山を視察しました。改めて環境との向き合い方、貧困の問題について考えました。3日目は山本日本語学校とササースダム高校の生徒と交流しました。練習の成果もあり、良いプレゼンが出来ました。4日目はトゥールスレン博物館に行き、内戦時代の生存者であるチュンメイさんから直接お話を聞きました。当時の状況は想像を絶するほどで、涙なしには聞くことができず、平和へのありがたみを痛感しました。また、フンセンチャックアンレイ高校を訪問し、平和について話し合いました。そして最終日には女性省を訪問しました。カンボジアでの様々な女性問題への政策をレクチャーして頂き、良い刺激となりました。次に、学校に通うのが困難な子供たちのために造られたひろしまハウスに行き、校内で集めた支援物資を届けました。その後、子供たちと紙風船や竹とんぼで遊びました。子供たちのキラキラした笑顔にパワーをもらいました。

今回の研修では内戦について深く知り、現地の高校生と平和観を共有することで、より相互理解を深めることが出来ました。



これからの事後学習では、学んだことを最大限に活かしてしっかり伝えていこうと思います。

(高2生徒)

#### ② 韓国研修

(日程：3月28日(火)～31日(金))

韓国研修では主に「日韓関係を良くするためには」というテーマで、韓国の大学生・高校生と交流をしてきました。私たちが事前に準備したプレゼンや、日韓関係について勉強し考えたことには、韓国の学生も共感してくれることが多く、また、韓国の学生が考える日韓関係については私たちが共感できることが多く、お互いに考えていることは似ているのだと思いました。交流会では日頃機会のない同世代の意見を聞くことができ、とても貴重な経験ができました。韓国の学生の中には日本のことが好きだと言ってくれる人が思っていたよりもとても多くいて、私たちが交流する学校に着くと多くの生徒が私たちを歓迎してくれ、最初はとても驚きました。校内を歩いていると日本語で「こんにちは」と声をかけて



研修を行った建国高校

くれたことや、授業に参加させてもらったクラスみんながとても優しく、私たちが韓国へのイメージが一気に変わりました。韓国の学生との会話は英語での会話が多かったと思います。お互い学校で習っている程度の英語力なので身振り手振りで伝えることも多く言語の壁を感じることも多かったですが、それも英語圏でない韓国だからこその経験だったと思います。今回の研修で韓国により親しみを感じることができました。私たちと、交流した韓国の学生たちのような日韓のつながりを増やしていくにはどうすれば良いか、これから考えていきたいです。



立って使う机。  
眠くなった時に  
使うそうです。

(高2生徒)

### ③ マウントユニオン大学研修

3月24日(金)～4月4日(火)の日程で、中学3年生3名と高校1年生6名は、アメリカオハイオ州にあるマウントユニオン大学とシカゴを訪れました。大都会シカゴではあいにくの雨天でしたが、美術館を巡り、名物のシカゴピザ(Deep Dish Pizza)に挑戦し、異文化を存分に満喫しました。マウントユニオン大学ではPeaceやCultureの授業に加え、大学生の授業にも参加し、教育・言語・文化について大学生と積極的に意見交換しつつ学びを深めました。また、現地の学校やFood Pantryへ足を延ばし文化交流やボランティア活動にも精力的に取り組みました。大学関係者や地元の皆さま、そしてホストファミリーの各ご家庭に温かく迎えられ、多くの出会いを通して日本では決して感じ取れない多くのことを持ち帰ることができました。

(引率教員)

本校生徒が代読、無事大役を果たしました。レセプションに共に招かれたサンローラン高校の生徒と一か月ぶりに再会し、翌日には高校を訪問しました。サンローラン高校には実に40か国以上の国籍の生徒が在籍し、人種のモザイクといわれるカナダの多民族社会を実感しました。

滞在中は記録的な暴風雪に見舞われ、毎日が冷凍庫の中のような生活でしたが、無事研修を終えることができました。帰国後も活動は続きます。今後は学んだ成果を継続して発信していく予定です。



ケベック州議会ジャック・シニョン上院議長と  
在モンリオール総領事倉光秀彰氏とともに

## II. 海外研修 (SGH 事業以外)

(引率教員)

### ① KAKEHASHI Project

(外務省主催「対日理解促進プログラム」)

このプログラムは招へい・派遣事業から成り立っており、2月にカナダのサンローラン高校を受入れ、交流しました。翌月の3月11日～20日には高1・高2生の計16名で、カナダのモンリオール市とケベック市を訪問しました。

ほぼ丸一日がかりの移動の後に到着したモンリオールは-20℃! しかも翌日にはサマータイムに切り替わり、時計を1時間進める(=1時間損する)など、日本では経験できないことから始まりました。

研修では、先住民族やカナダの歴史・文化について学びを深めただけでなく、政府関係や国際機関等も訪問しました。ケベック州議会、仏語圏省、国際民間航空機関・日本政府代表部(国連機関)を表敬訪問しました。在モンリオール日本国総領事館にも招かれ、総領事主催レセプションでは、岸田外務大臣夫人・岸田裕子様(本校卒業生)からお預かりしたお手紙(カナダ前外務大臣夫人ジャニン・クリーバー様宛)を

## III. 国内研修

### ① 山梨学院大学 iCLA 研修

3月23日(木)～25(土)、高校1年生 Global Issues 選択者は、山梨学院大学のiCLA(リベラルアーツ学部)にて研修を実施しました。「戦争と平和」をテーマに社会学や政治学はもちろん、文学・音楽・文化人類学といったさまざまな角度から授業が英語で展開される3日間のプログラムです。国内にいな



がでる内容の濃い研修です。その中心となるのは、世界の核問題に関する情勢を踏まえたシミュレーションゲームです。今回の議題は「イランの核保有問題」でした。GI生は各国の大統領や要人のポストを与えられ、核軍縮に向けた議論を英語で行います。予習課題も膨大で、3学期の期末試験後は英語漬けの毎日でした。



担当国の利益を優先しながらも、他国と協働して交渉を進めていくには、対話力やリーダーシップが不可欠です。研修では、交渉が決裂したり「合意した」と思った内容が覆されたりとさまざまな「ドラマ」が繰り広げられました。最終的な結末は「交渉決裂」。シミュレーション上では、中東で戦闘が開始される結果となってしまいました。一番避けたい結果であったはずなのに、各国が自国の利益を優先してしまうと、現実の世界でもこの最悪の状況をつくり出してしまいう可能性がある…。この研修を通じて、生徒たちは「現実」の国際情勢について深く学び、各国のリーダーが歩むべきあり方についてしっかりと考えていく機会となったはずでした。

研修を終えたGI生たちは高校2年生となり「世界で平和を創出する女性リーダー」を目指して日々の活動に励んでいます。研修にあたり、iCLAの先生方をはじめ、多くの方々のサポートを頂きました。



この場をかりて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(引率教員)

## ② 広島ツーリズム

2016年の1月から3月にかけて行われた海外研修に参加した生徒(現高3)の何人かから、「もっと英語の力を高めたい」「海外で紹介できるヒロシマの知識の少なさを痛感した」という声が上がりました。彼女らの「原爆に関するヒロシマのことだけでなく、もっと広島全体を知って、戦争と平和について考えたい。それを海外の人に紹介したい」という発案のもと立ち上げたのがこの広島通リズムです(広島をよく知っているという「広島通」と、いろいろな視点をめぐる「ツーリズム」を合わせた造語です)。

約10か月かけて準備・企画し、この春休み4月1、2日に、広島大学大学院国際協力研究科に留学中の大学院生をゲスト

にして、広島・呉地域の戦争と平和に関する箇所を英語で案内しました。PS やいろいろな諸活動の集大成として、ゼロから創り上げた研修でしたが、様々な国からいら



った留学生の方に広島について関心を持って頂けた国際交流となりました。

(引率教員)

## ③ CIF (Critical Issues Forum) in 長崎

4月1日(土)～5日(水)にかけて長崎にてクリティカル・イシューズ・フォーラムが開催されました。アメリカ・ロシア・日本の高校計17校が集い、今回のテーマである「包括的核実験禁止条約が核なき世界の実現に果たす役割」について、それぞれ数か月にわたり調査してまとめた結果をプレゼンテーションしました。2015年には広島女学院高校で開催され、昨年はカリフォルニア州モンテレーにて、そして今回は長崎の活水高校を会場として実施されました。女学院生は核の危険性についての意識を少しでも高めてもらえるよう、自分たちの日ごろの活動を紹介しながら、ともにこの問題について考え解決へと歩みを進めるよう提言しました。このフォーラムのためわざわざウィーンからかけつけてくださったCTBT0(包括的核実験禁止条約機関)事務局長のラッシーナ・ゼルゴ氏から、今後も継続的にこの問題について知識を深め、考え続けてほしいと激励の言葉をいただきました。ゼルゴ氏は、2015年度本校卒業生であるK・Sさんとの関わりをきっかけとして、若い世代の教育に一層精力的に取り組まれるようになったとのこと。このフォーラムは準備に大変な



時間と労力を要しますが、参加した生徒にとっては非常に面白いのある素晴らしいひとときとなりました。

(引率教員)

## 生徒会 春の公演

### ① 第33回高校音楽部演奏会

春の公演シリーズのトップとして、3月26日（日）にゲーンズホールに於いて、『第33回音楽部演奏会』を行いました。部員は11名、中学生4名（現高1）と決して多い人数ではないのですが、4つのステージを歌い上げました。第1ステージは、木島始作詞、信長貴富作曲「初心のうた」。第2ステージは、世界をめぐるを題して、「さくら」「流浪の民」など各国の曲を歌い、「アリラン」では、チャンゴ奏者として重松先生に賛助出演して頂き、練習でも楽しい時間を過ごすことができたことに、部員一同、感謝しています。第3ステージは、部員が選んだポップスのステージ、振り付けなどの工夫を凝らしました。第4ステージは、宗教作品をアカペラで、音楽部員らしい透明感のある声でホールいっぱいに音楽を届けてくれました。今年度も気持ちを持ちを新たに、多くの音楽に触れていきたいと思っています。演奏会を行うにあたってアナウンスや照明、受付など生徒たちの協力を頂いたことに心から感謝します。

（高校音楽部顧問）

### ② 高校ダンス部 春の公演

4月13日（木）放課後にゲーンズホールにて春の公演を行いました。高校2年生中心での初めてのステージですが、ダンスはもちろん、衣装や照明までしっかりと練られた内容で、あっという間の40分でした。特に、コーチの振り付けによる最後の曲は、高校3年生4名を含む21名全員の息がぴったりと合った非常にレベルの高い仕上がりになっていました。アンコールでは、コーチもステージに登場し、生徒と一緒にダンスを披露してくださいました。平日にもかかわらず、たくさんの方にご来場いただきましてありがとうございました。

（高校ダンス部顧問）

### ③ 中学演劇部 春の公演

中学演劇部は、4月15日（土）ゲーンズホールにて、「水平線の歩き方」（成井豊作）を上演しました。

この春の公演は、中学3年生が最上級生となり初めての公演です。新しい体制のもと、台本決めから練習計画の立案、大道具・小道具・衣装の調達、演出など、今まで先輩に頼っていたことを自分たちでしなければならないため、本当に自分たちだけでできるのか、という不安を感じながら、準備をすすめてきました。今回のお話は、現在と過去がいたりきたりするため、限られた舞台空間をうまく使う必要があり、演出や大道具の配置、照明・音響など、苦勞したところがたくさんありましたが、キャスト・スタッフともにアイディアを出し合い、みんなで工夫して舞台を作り上げることができました。本番では、多くのお客様に来ていただき、部員たちはいつも以上の力を発揮することができました。お客様からいただいたアンケートでは、「お話にぐいぐいひきこまれた」、「最後の場面で涙がとまらなかった」、などお褒めの声をたくさんいただき、部員・顧問一同喜んでいきます。もちろん課題もたくさんありますので、アンケートでいただいたご指摘を糧にして、次の文化祭公演にむけ、これからも練習に励んでまいります。これからも応援宜しくお願いいたします。

（中学演劇部顧問）

### ④ 第30回 吹奏楽部定期演奏会

4月16日（日）、第30回の定期演奏会がゲーンズホールで催されました。節目となる30回目ということもあり、例年よりもおよそ30分長い、2時間を超える演奏会となりました。トランペット奏者の村上俊也先生をゲストとしてお呼びし、音楽科教諭の長谷川先生のパイプオルガン、OGのステージ参加など、豪華なステージとなりました。

全3部構成で、第1部は吹奏楽オリジナル・ステージとして、吹奏楽コンクールの課題曲「インテルメッツォ」をはじめ、「驚

の舞うところ」、「カプレーティとモンテッキ」、「信長〜ルネサンスの光芒 作品 66〜」などを演奏、迫力のステージで盛り上げました。第2部のポップス・ステージでは、合唱あり、劇あり、物真似あり、の観客を引き込む楽しいステージを作りました。第3部はシンフォニック・ステージとして、ゲストによるトランペット独奏や、ホールのパイプオルガンなども織り交ぜ、音楽の奥深さと魅力を表現できたように思います。

多くのお客様が来場され、二階席までほとんど埋まっている状態でした。企画や運営に生徒自身が多く関わり、本当に全力で創り上げた演奏会となったと思います。来場して下さった方々、本当にありがとうございました。今後も吹奏楽部を宜しく願います！



(吹奏楽部顧問)

## 高校生徒会執行委員 選挙結果

2016 年度2月の選挙によって決まった新高1の生徒会執行委員は、以下の5名です。新しく加わった高1と力を合わせ、執行委員11名で生徒会行事を運営していきます。

2017 年度もどうぞ宜しくお願いします。

- 1-A N・R
- 1-B N・S
- 1-C K・C
- 1-D Y・A
- 1-E O・H

(高校生徒会顧問)



## 中学校部活動

### 保護者対象説明会のお知らせ

今年度も中学校部活動で、運動部・毎日活動する部を中心として、各部部員の保護者を対象に、活動内容等に関する説明会を開催します。時間・場所等の詳細については、後日各部顧問から生徒を通して連絡があります（「未定」の部も同様です）。保護者の皆様はぜひご出席ください。

#### **剣道部**

5月20日(土) 12:50 予定  
(PTA 総会終了 10 分後から)  
剣道場(体育館1階、食堂横)  
※中学生のみで行います。

#### **ソフトテニス部**

5月27日(土) 14:00～  
中学校 2-4 教室

#### **卓球部**

6月20日(火) 16:00～  
高校1階 106 教室

#### **ソフトボール部**

6月20日(火) 16:00～  
中学校 1-4 教室

#### **バスケットボール部**

6月中に行いますが、大会結果により日程を決定します。

#### **新体操部**

7月末の合宿時に演技発表会と同時に行います。

#### **バレーボール部**

予定していた日程が試合となりましたので、後日連絡します。

#### **マンドリン部**

6月3日(土) 14:00～15:00  
中学校2階 講義室  
※高校生保護者の方も対象とします。

#### **吹奏楽部**

6月3日(土) 午後から行います。  
時刻・会場等詳細は後日連絡します。

#### **演劇部**

6月20日(火) 16:00～  
高校2階 セミナー3教室

(中学生徒会顧問)

## 学級文庫の返却のお願い

昨年度末に学級文庫を回収して、新しい教室に持って行けるよう準備をしておりますが、昨年度の未返却の本が多数にのぼっております。教室で生徒にも呼びかけておりますが、ご家庭でもラベルを貼った本(文庫本と岩波ジュニア文庫が多いですが、中には大きな単行本もあります)を見つけられましたら、お嬢様に持たせていただくか、行事で来校されたときに図書館や事務室にお預けくだされば幸いです。宜しくお願いします。

(国語科)

## 保健室だより (1)

～健康診断が行われています～

新学期が始まり、何かと疲れのたまりやすい時期ではありますが、早寝早起きを目標に、健康管理に努めたいものですね。4月10日から開始した第一次スクリーニング(身体測定、視力や聴力検査、中1と高1は心電図検査、高1は、胸部レントゲン検査)が実施されました。2017年度健康診断が引き続き行われています。

尿検査は、5月11日(木)が最後です。朝9時半までに保健室に提出してください。容器がなくなった人は、保健室まで取りに来てください。学年毎に、内科検診が実施されています。また、6月15日(木)には、30人の医師をお迎えして、耳鼻科、眼科、歯科検診が実施されます。必ず受けるようにしましょう。結果は、受診する必要がある人へのみ、通知いたします。

また、5月の連休などに渡航する方、海外で気を付けるべき感染症に関する情報を提供するHPが更新されたようです。手洗いをこまめにする、生水を飲まない、氷を避ける、完全に火の通った食べ物を食べる、サラダや生の野菜は避けるなどの予防や、出発前に渡航先の感染症の流行状況等に関する情報を入手しておくなど、備えありの状況で楽しんでください。

(保健室)

## 心の健康 (1)

人は誰でも新しい環境では気を使いながら過ごします。新学期は中1生から高3生まで、また先生や保護者にとって新しいことが多く、何かと気をつかいストレスのかかる日々です。

このストレス(STRESS)を上手に解消していくヒントを頭文字にそってお知らせします。

- S-sport      ・運動をしよう
- T-tree        ・自然にふれよう
- R-relation   ・人間関係をもとう
- E-eating      ・食べることを大切にしよう
- S-sleeping   ・睡眠を十分にとろう
- S-speaking   ・おしゃべり、話し合おう

5月は休みが多く、家族で過ごしやすいため、共にどれかを実行して心の健康を保ちましょう。

(カウンセラー)

## 生徒の活躍

《中高》

\*日本英語検定協会より「奨励賞」受賞

《中学》

\*日本英語検定協会より「奨励賞」受賞

《高校》

◇高校バスケットボール部

\*県総体広島地区予選

1回戦 女学院 84-44 西条農業

2回戦 女学院 57-61 舟入

◇個人の活躍

\*広島県主催 ぴっくり!広島「若者ビジネスプランコンテスト2016」

I・H(2-A)

O・A(2-E)      優秀賞



## 教職員の動向

◇今年度の新任の先生は次の方々です。

《教員》

岸本 亮子（国語）

寄田 小百合（養護）

スミス フローレンス（英語）

《講師》

福島 史帆（地公）

中村 順子（数学）

長谷川 礼次（理科）

藤井 潤（理科）

フェローズ アミル（英語）

コール ベンジャミン（英語）

## 今月の聖句

「わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。」

（コリントの信徒への手紙一 3章9節）

1887年10月12日、広島の子に降り立たれたゲーンズ先生は27才でした。以来、1932年2月26日に帰天されるまで、44年以上の長きにわたり広島女学院に尽くされたのです。この聖句はゲーンズ先生が愛された聖句です。「神の畑、神の建物」はメタファー（隠喩）ですが、著者のパウロは何を言おうとしているのでしょうか。また、ゲーンズ先生はこのメタファーに何を見ておられたのでしょうか。4月23日のゲーンズデイ（ゲーンズ先生の誕生日）にあたり、考えてみたいと思います。

（聖書科Y. I）

## 5月行事予定表

|    |   |                                |
|----|---|--------------------------------|
| 1  | 月 |                                |
| 2  | 火 | 1～3限 土曜授業<br>7限 中 行進練習         |
| 3  | 水 | 憲法記念日                          |
| 4  | 木 | みどりの日                          |
| 5  | 金 | こどもの日                          |
| 6  | 土 | 振替休日（4月8日（土））                  |
| 7  | 日 | 高3河合マーク模試                      |
| 8  | 月 | 中3内科検診（5,6限呼び出し）               |
| 9  | 火 | 4～6限 土曜授業<br>7限 高 行進練習         |
| 10 | 水 | 中3内科検診（5,6限呼び出し）               |
| 11 | 木 | 尿検査 高1内科検診（5～7限呼び出し）           |
| 12 | 金 | 40分授業 6限まで<br>体育大会準備           |
| 13 | 土 | 体育大会（雨天の場合は休日）                 |
| 14 | 日 | 体育大会予備日                        |
| 15 | 月 | 振替休日（体育大会）<br>体育大会中止の場合は月曜授業   |
| 16 | 火 |                                |
| 17 | 水 |                                |
| 18 | 木 | 高2内科検診（5～7限呼び出し）               |
| 19 | 金 |                                |
| 20 | 土 | 参観日 PTA総会（午後）学級懇談会<br>保護者対象講演会 |
| 21 | 日 |                                |
| 22 | 月 |                                |
| 23 | 火 | 中間テスト（高1・2・3） 高1各種テスト          |
| 24 | 水 | （中1・2・3）1限8:55～15分休憩           |
| 25 | 木 | 1限8:55～15分休憩                   |
| 26 | 金 | 1限8:55～15分休憩<br>中1各種テスト        |
| 27 | 土 |                                |
| 28 | 日 | 高3駿台全国模試（希望者）                  |
| 29 | 月 |                                |
| 30 | 火 |                                |
| 31 | 水 |                                |